

大東民報

議会版

日本共産党
大東市議会議員団
大東市谷川1丁目1-1
TEL 072-871-5588

国指定史跡で保存確実に 競売・落札された平野屋新田会所

党派超えた運動実る

裁判所の競売にかけられ存続が危ぶまれていた大東市平野屋に残る「平野屋新田会所」は、党派を超えた運動が広がる中で、国指定史跡として保存されることが確実にとなり、地元住民はじめ関係者は胸をなでおろしています。

会所は開発された新田の経営と維持・管理のための事務所。

平野屋新田会所は1704年(宝永元年)に大和川が堺に向けて付け替えられた後、深野池、新開池が新田として開発されたのにもない、「深野南新田」「河内屋南新田」を管理するため、1715年(正徳5年)ごろ、大阪の豪商・平野屋又右衛門が建設したと言われています。

その後、所有者は助松屋、天王寺屋、銭屋(高松長左衛門)へと代わり、高松家によって今日まで保存されてきました。

日本最大級の なかげがえ ない遺跡

表長屋門や大引天井の母屋、屋敷蔵、千石蔵跡、庭園、船着場など、江戸時代中期の遺跡が、松など豊かな緑とともに残されています。

平野屋新田会所は、国史跡で建物が重要文化財に指定されている東大阪市の鴻池新田会所と並ぶもの。

平野屋新田会所を考える会(佐久間貴士会長：大阪樟蔭女子大教授)によると、深野池の開発は日本の新田開発では最大級で、池の埋め立てによるものとしては

鴻池新田会所を凌ぐ、日本最大級のもの。

「平野屋新田会所は、日本の歴史を知る上でかけがえのない遺跡として国指定史跡の価値を持っている」と保存の必要性を訴えています(今年1月、文化庁などへ提出した保存の関する同会の要望書)。

日本共産党 も保存と活用 を訴え

宅地化の波が押し寄せる中、保存を求める声は2000年頃から地元を中心に起こり、日本共産党の豊芦勝子市議らが再三議会で取り上げ、保存と会所周辺の整備・活用を要求。

今年3月には文化庁担当者が見地を視察するなど、保存への動きが強まっています。



・090-8939-5743

市議員
まさひろ
まさひろ



・090-3864-5037

市議員
つとむ
つとむ



・090-1079-8939

市議員
かつこ
かつこ

「平野屋会所保存推進会」(植田義孝代表)の中川良男さん(73)は、

「一見、こんな荒れ果てたものが何で文化財やという人もいます。表長屋門や母屋そのものは昔のまま。縁側から望む庭園は生駒山を借景に造られ、新田を所有した大阪の豪商の経済力と文化度をうかがうことが出来る」と言います。

平野屋新田会所を永く管理してきた井戸上行男さん(72)は

「無断で進入するものもおり、早く整備して欲しい。緑の少ない街で、この一角だけは緑も豊かです。保存が決まれば、これからは楽しみです」

日本共産党の豊芦議員は「大東には古堤

平野屋の会所・表長屋門とその屋敷



街道など3つの街道が通り、大阪から、京都や奈良に通じる土地。また大坂と河内の村々を結ぶ舟運の要所であり、産業交通の拠点であった。平野屋新田会所を中心に、歴史、文化育む街づくりを日本中に発信できる。」と期待しています。

法律相談

6月2日(土)
夜 7時
市民会館
予約制です
TEL 871-5588 まで

「ヒューネットだいたい」補助金不正支出

返還求め住民訴訟

大東市(岡本日出土市長)の補助金で運営されている人権啓発団体「ヒューネットだいたい」が、勤務実態のない男性常勤職員11名に年間約800万円の給与を支給するなどしていた問題で、同市の労組や民主団体でつくる「市民要求実現大東実行委員会」の松久芳樹代表は、5月9日、04年度に市が支出した計1830万円は違法な公金支出にあたるとして、岡本市長らに返還するよう求める住民訴訟を大阪地裁に起こしました。

勤務実態ないのに退職金まで

「ヒューネットだいたい」は、国の同和対策特別法の失効(02年3月末)後、大東市同和事業促進協議会(市同促)などを統合して02年4月に新設されました。

男性常勤職員は全日本同和会大東支部役員(現顧問)で、市同促の事務局長も務めるなど、市の同和行政に強い影響力を持っていた人物。

「ヒューネットだいたい」の設置と同時に常勤職員として雇用されました。ところが男性常勤職員は、大東市と「ヒュー

ネットだいたい」との協定に基づき、自分自身が事務局長を務める「野崎地域人権協議会」に勤務。それなのに「ヒューネットだいたい」から、02年度に年間800万900万円以上の給与・一時金を受け取っていました。同職員は2月14日付で退職し、3月9日に市同促分の退職金8万97,642円を、3月13日にヒューネットだいたいの退職金1万928,818円(計10万126,500円)も受け取っています。

さらに大東市は全日本同和会大東支部に、何の法的根拠もないのにアルバイト職員を派遣。06年10月までに計550万円のアルバイト料を公費で負担してきました。

「市民要求実現大東実行委員会」はことし2月、男性常勤職員への給与・一時金や同和会大東支部に派遣したアルバイト職員の給与の返還、補助金の是正・見直しなどを求めて住民監査請求を行いました。

市監査委員は4月、アルバイト職員については

第35回 大東市視覚障害者福祉協会定期総会に

千秋副議長・豊芦市議出席
音の信号機4基つきます!



5月11日福祉センターで行われた視覚障害者定期総会に千秋副議長と豊芦市議が出席しました。当日はフィリピンから視察のため1名参加されていました。

山下会長から住道周辺の交差点に前から要望していた音の出る信号機が4基設置されるとの報告がありました。

視力障害者にとってはゴミの分別が難しく、説明会を開催することでした。

聴力障害者団体から樋口武則会長が「戦争は障害者づくりだす。障害者にとっては戦争はいらない」との挨拶が心に残りました。



大東市議会副議長に 身近な議会目指す

5月9日に開かれた大東市議会臨時市議会(日本共産党市議の千秋昌弘さん(63)＝同市在住＝が、副議長に選出されました。同党初のできごと。近隣市へのあいさつや各種行事で大忙しです。

同議会は、毎議会ごとに日曜日や平日夜に開催する「日曜議会」「夜間議会」や、地域の図書館などで「出前特別委員会」を開いて、市民が傍聴しやすいよう努力したり、議場でのコンサー

トや講演会などで、身近な議会を目指しています。

「民主的な議会運営をさらに発展・前進させたい。市民が喜ぶ市政になるように、暮らして福祉を充実させるためにも役立ちたい」と語ります。

36歳で初立候補し初当選。以後7期連続当選。近藤民主市政時代には、与党の幹事長として奮闘。議員になったきっかけは、不正乱脈な同和行政への怒りからでした。一貫して議会を取り上げ続け、他党にも一目置かれる存在です。

趣味は学生時代からのうたごえ。最近では音楽を勉強中で、「機会があればイタリアを」と考えています。